School

教育情報 桂川っ子

【問合先】学校教育課 教務係 ☎65・1149

題字：桂川中学校美術部
岡本 武 さん

■これからの時代に必要な力を育てています

桂川小学校 校長 薄井 純一

令和7年度、本校では、学校教育目標に掲げる「未来を志向する」児童の育成に努めました。

○学びづくり

学力等に関する調査結果を踏まえ、本年度は児童が自分の思い・考え等を文章で書き表す力を高める取組に力を入れました。「書きたい、読んでほしい」と意欲をもつ仕掛けをしたり、「この順番で書こう、この内容を強調しよう」と書き方を整理する工夫をしたりしました。文章を書く際は、どの教室にも「カリカリッ」と鉛筆が動く音だけが響きました。児童が書き上げた文章を紹介する際の表情がとても印象的でした。

○心づくり

これまで何度も紹介してきた児童の合言葉「やればできる」を大切にした取組を進めました。本年度は、毎月一回オンラインによる全校朝会を実施しました。この朝会では、児童運営委員会を中心に、「学校行事をみんなで成功させよう」や、「言葉づかいに気を付け、自分や友だちを大切にしよう」など、全校で取り組みたいことを共通理解しました。全校で学校をよくしていこうとする前向きな気持ちが高まるよい取組となっています。

○体づくり

昨年度・本年度は「食に関する指導」の充実を図りました。給食時間や教科学習を通して、児童が、「食材や料理に関心をもつこと」、「自分で調理してみたいと意欲をもつこと」を大切にしました。この「食」への取組は、これからの児童の健康づくりに必ず役立つものと思っています。

これらの取組を進めるにあたっては、保護者の皆様、地域の皆様、関係機関の皆様に大変ご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

この一年間の取組は、必ず子どもたちの豊かな未来につながると確信しています。皆様には、今後とも本校教育活動にご理解・ご協力をお願いします。

■「未来を豊かに創造する東っ子」を目指して

桂川東学校 校長 岡本 一郎

東小学校では、本年度「未来を豊かに創造する児童の育成」を目標に、日々の教育活動に取り組んでまいりました。

①「自ら考え表現する」

校内研究として、「目的に応じて自分の考えを適切に書く力を育む国語科学習指導」を主題に、指導の充実に取り組みました。

授業では、それぞれが友達と文章を交換して、もっと知りたいことなどを相手に質問して、付箋や赤ペンを使いながらより伝わりやすい内容になるように友だちの文章を添削していました。

全校で、自分の文章をしっかり読み直すことに取り組むことで、「自ら考え表現するための考えを整理する力」が向上したと思います。

今後は、表現の質の向上を図っていきます。

②「互いに認め合う」

本校の特色ある教育活動の1つに、「縦割り活動」があります。具体的には、異学年でグループをつくり、校内の清掃活動を行ったり、学校行事に取り組んだりしています。

高学年は、「教える」「世話をする」という役割をもたせることで、自分が役に立っているという感覚が大きく育ちました。

低学年・中学年は、お兄さんお姉さんのきびきびした行動ややさしさに触れ「自分もあんな風になりたい」という成長への意欲が高まったと感じます。

年齢や得意・不得意が異なる子どもたちが協力することで、お互いを認め合う「多様性への理解」が自然と進みました。

以上が令和7年度本校教育活動の振り返りです。

様々な教育活動を通して児童の非認知的能力がさらに高まることを期待しています。

今後も保護者・地域の皆様・関係機関の皆様のご協力のもと、学校教育目標の実現に向け努力してまいります。よろしくお願いします。